

ふるさとを語る

日本の縮図と言われる兵庫県は、多彩な人材を輩出しています。今回は、落語家の桂吉坊さんにお話を伺いました。

落語家

桂吉坊さん

かつら

きち

ぼう



〈プロフィール〉

1981年生まれ。大阪府立東住吉高校芸能文化科在学中の1999年、桂吉朝に入門、同年3月に初舞台。2000年桂米朝のもとで内弟子修行を開始。古典落語を中心に舞台を重ね、2011年咲くやこの花賞大衆芸能部門賞、2014年繁昌亭大賞奨励賞など数々の賞を受賞。2008年公開の映画「能登の花ヨメ」など役者としても活躍している。

■生まれ育った西宮

西宮市で生まれ育ち、今も関西を中心に活動していますので、兵庫県は「ふるさと」という遠い感覚はなく、身近な存在ですね。

■落語との出会い

中学1年生のとき、阪神・淡路大震災に遭い、実家は無事でしたが、駅前のマンションが倒壊し、学校の先輩が亡くなりました。担任の先生が、先輩

が見つかるまで毎日、その場所に立つしかない姿を見て、人間の無力感を突きつけられました。

■入門のきっかけ

高校に進学する気になれない頃、中学の理科の宿題で天気図を書くため、NHKラジオ「気象通報」を録音していました。ある日、間違えて録音した、桂米朝師匠の「けんげしゃ茶屋」という演目が、生まれて初めて聞いた落語でした。その時、なんと面白いのかと

思い、それ以来、落語にはまりました。落語家は中卒でも入門できると知った頃、ラジオで桂吉朝師匠の「時うどん」を聴きました。「マクラ」という冒頭部分で「この噺は人が失敗する話なんです」と最後の方までストーリー説明をしてから同じ落語を話し始めたんです。噺の筋を知っているのに面白いのに衝撃を受けて、弟子入りをお願いしに行きました。中学3年生の秋でした。師匠には「高校入ってもう少し世間を見て来い。楽屋にはいつでも遊びに来たらええ」と言われ、大阪の高校に進学、授業が終わると楽屋をうろうろ

していたのが、米朝師匠の目に留まり、吉朝に「入れるなら、はよ入れたらええ」と、鶴の一声で、あつという間に入門が決まりました。平成11年1月、高校2年生のときです。

■初舞台のエピソード

初舞台は入門した年の3月と決まり、師匠には、普段の稽古の他に神戸で開いていた一般向けの落語教室の始まる前に稽古をつけてもらいました。しかし、初舞台ではネタを忘れてし

もう大失態で、初めは順調でしたが、途中でネタが頭の中から消えてしまい、どうしようもなく黙っていたら、師匠が舞台の袖から何か言ってくれていますが聞き取れません。やっと思いで、最後まで話すことができたのですが、その日の師匠は無言でした。

このことはそれから1年ほど経ったある日、突然「大体、あのとさお前な！」と、1年越しに大目玉を食らいました。

■桂米朝師匠への内弟子時代

米朝宅には直弟子から吉朝一門へと住み込み修業をする内弟子が代々続いていました。

高校卒業後、正式に内弟子修行に入りました。大師匠と生活をともにしながら、落語だけではない、落語家として



(©佐藤浩)

て生きる姿勢を教わった大切な3年間でした。

■吉朝師匠の思い出

サンケイホールという、当時落語家にとって憧れの舞台の独演会でした。

師匠の発する言葉が、

約1500

人のお客一

人一人の心

をとらえる

姿は、まる

で能「田村」

に出てくる

千手観音が

敵を一人で

ことごとく

射止めてい

く、あの場面を彷彿とさせました。落語がこんなにダイナミックな芸能なのかと感動した瞬間でした。

■コロナ禍における落語

不要不急の真っ只中と言われる落語ですが、落語はご飯は食べられません。ご飯がおいしくなる、明日もいいこ

とがあるかもしれないと思わせてくれる芸能だと信じています。

コロナ禍の今、ユーチューブなどの配信も増えました。いろんな方に見ていただき、一人でも多くの方々に興味を持ってもらいたいと思います。



(©佐藤浩)

■これからの目標

初めて落語を聞いたとき、落語を知らなくても、頭の中で物語の世界が広がることに驚きました。そんな驚きと楽しさを感じてもらえる落語を演じたいです。師匠や大師匠をはじめ、先人が膨大な知識と経験の中から選んだ言葉や心意気を受け継ぎたいです。

■県人会の皆さまへ

インターネットや交通手段などの発達で人との距離が縮まっている反面、コロナで本当に近い人にも会えない状況が続いています。

江戸落語、上方落語と言われますが、今では東京の舞台でもお客様に大阪弁を身近に聞いていただけます。また大阪には天満天神繁昌亭、神戸・新開地には喜楽館があります。落語は、想像の世界で遊んでいただけの芸能です。案外と身近にありますので、コロナが収まったらぜひ一度、生の舞台を見ていただければと思っています。



(©出田秀)

桂吉坊さんの手ぬぐいを2名の方にプレゼントします。詳しくは37ページをご覧ください。

ポストコロナ 新時代に挑む

総額4兆6068億円の令和3（2021）年度当初予算。5つの柱に重点を置き、ポストコロナ社会を見据え、「兵庫2030年の展望」の具体化に向けたリーディングプロジェクトや「兵庫県地域創生戦略」の地域プロジェクトなど、「すこやか兵庫」の実現に向けた取り組みを進めていきます。



令和3年度県政の5つの柱

- I 安全安心な兵庫づくり
- II 交流の新展開
- III 兵庫の強みを活かした産業の育成
- IV 多様な兵庫人材の活躍
- V 新たな兵庫への道筋

兵庫県
広報戦略課
より

話
題

ふ
る
さ
と
の
し



I 安全安心な兵庫づくり

- 新型コロナウイルス感染症対策
 - ▼ 医療提供体制の確保▼ ワクチン接種
- 防災・減災対策
 - ▼ 防災・減災、県土の強靱化対策▼ 避難行動要支援者への支援▼ 防災人材の育成
- 医療確保と健康づくり
 - ▼ 医療体制整備と人材の育成▼ がん等の疾病対策▼ 認知症対策
- 子ども・子育て環境の充実
 - ▼ 妊娠、出産への支援▼ 子ども子育て支援▼ 児童虐待の防止
- 高齢者、障害者支援の充実
 - ▼ 高齢者支援の充実▼ 障害者の生活支援
- 暮らしの安心確保
 - ▼ 雇用の維持・確保▼ 自殺対策▼ 人権対策

II 交流の新展開

- 五国の交流、魅力発信
 - ▼ 五国の再発見と交流促進▼ 五国の逸品・絶品の販売促進▼ 花みどりフェアの開催▼ 大阪・関西万博での兵庫の魅力発信
- 新たなツーリズムの創出
 - ▼ 新たな観光モデルの創出▼ GoToトラベル後の観光需要喚起▼ インバウンド再開を見据えた取り組み
- 芸術文化、スポーツの振興
 - ▼ 芸術文化の振興▼ スポーツの振興
- 交流基盤の整備促進
 - ▼ 基幹道路ネットワークの整備▼ 神戸空港の国際化

III 兵庫の強みを活かした産業の育成

- 地域を支える産業の振興
 - ▼ 中小企業・事業者支援▼ 商店街の活性化
- 農林水産業の基幹産業化
 - ▼ 農林水産業のスマート化▼ 山田錦の需要拡大▼ 地域による農地管理の強化▼ 畜産物の生産力強化▼ 資源循環型林業の確立▼ 県産木材の利用促進▼ 豊かで美しい瀬戸内海の再生
- 持続可能な地域環境の創造
 - ▼ 地球温暖化対策の強化▼ 水素社会実現への取り組み▼ 資源循環の推進▼ 野生鳥獣被害の防止

IV 多様な兵庫人材の活躍

- 次世代を担う人材の育成
 - ▼ ICTを活用した教育の展開▼ 新時代に対応した高校教育の展開▼ 特別支援学校の新設▼ 芸術文化観光専門職大学の開学
- 全員活躍社会の推進
 - ▼ 女性活躍の推進▼ シニア世代の就労支援▼ 障害者雇用の促進

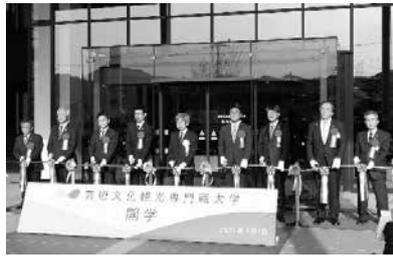
V 新たな兵庫への道筋

- デジタル化の本格的推進
 - ▼ ICTを活用した地域課題の解決▼ スマート県庁の推進
- 変化に強い産業構造への転換
 - ▼ スタートアップの創出▼ 次世代産業の育成▼ 次世代医療開発センターの研究支援▼ 富岳の産業利用
- 地方回帰を促す環境整備
 - ▼ 移住・定住の推進▼ 県内就職の促進▼ 地域再生大作戦の新展開▼ 空き家の活用▼ 企業立地の促進
- ポストコロナ社会を先導する取り組みの強化
 - ▼ リーディングプロジェクト▼ 地域プロジェクト▼ モデル
- 新しい将来ビジョンの策定
- 持続可能な行財政構造の確立
- 大規模プロジェクトの進捗調整

芸術文化観光専門職大学開学！



▶4月1日 開学式



令和3年(2021年)4月、平田オリザ氏を長に、芸術文化観光専門職大学を開学。日本で初めての「芸術文化観光」を深く学ぶ公立大学が、豊岡市に開設されました。



入学式

4月5日、1期生84名を迎え、入学式を挙げる。平田オリザ学長より「学問とは、科学的に考え、理性によって行動する習慣を身につけることだと、私は考えます」、「ここに在るすべての学生が4年後にこの大学を選んでよかったと胸を張れる大学を皆さんと創りたい」と式辞が述べられました。



▶4月5日 入学式

教育の特徴

◆芸術文化と観光の二つの視点から地域活性化を学ぶ

地域の新たな活力を創出するプロフェッショナルを育成。「芸術文化観光」という新たな学問分野を開拓。

◆国公立初！演劇・ダンスの実技が本格的に学べる大学

世界を舞台に活躍する演劇人、ダンサーが教員として在籍。220人収容の劇場やスタジオなど舞台芸術を学ぶための施設も充実。



▲劇場

◆新たな観光を創り出し、元気な地域づくりを担う人材を育成

観光が着地型観光へと変化を迎える今、地域の魅力をあらためて多様な視点から掘り起こし、地域を活性化させる人材を育成。

◆1学部1学科80人の徹底した少人数教育

原則、全科目を40人以下で行う徹底した少人数教育。教員と学生の顔の見える関係ときめ細かな指導を通じて学びを深め、高い教育効果を実現。

◆授業の1/3を実習に充てた実践的なプログラム

現場をフィールドにした授業の1/3の実習を実施。実習は単なる経験にとどまらず、自らが新プランを企画するなど、在学中に実践力を養成。

◆初年次教育と初年次全寮制

コミュニケーション教育や英語教育を中心に、初年次教育に力を入れ、自立した学びを促す。1年次はシェアハウス方式の全寮制とし、学生同士の交流を通じて、協働性やコミュニケーション能力を養います。交流室も設置し、生活の場だけでなく、学びの場として活用。

ロゴマーク



芸術文化と観光という2つの学びを表す左右に大きく広げた翼。2つの学びが表裏一体となって生まれる唯一無二の価値と無限大の可能性を表している。

伸びやかに美しく大空を舞うコウノトリのように、異なる分野の架け橋となり、地元地域へ、そして世界へ羽ばたくことを願って。

エレガントで柔らかなデザインは、これからのエンターテインメントを生み出す歓びを印象づける独自の感性に基づいている。

ブルーカラーは、空をイメージし、架け橋となる無限大の可能性を意味し、ピンクカラーは、芸術文化観光のエンターテインメント性と歓びを意味している。

花みどり フェア

淡路花博20周年記念
Awaji Flower Festival

2021年春

3.20 土・祝 — 5.30 日

2021年秋

9.18 土 — 10.31 日



◇はじめ

2000年に「人と自然のコミュニケーション」をテーマに、国際園芸造園博「ジャパンフローラ2000」(淡路花博)が開催。関西国際空港工事などの大規模な土砂採取跡地約100ヶ所を花と緑で埋め尽くし、自然と人が共生する新しい姿の表現を目指しました。

自然とともに安心して暮らせる豊かな環境を整備することにより「新しい花と緑の文化」を後の時代に引継いでいくことが期待されました。

◇継承と発展

淡路花博から10年後に、淡路花博2010「花みどりフェア」が開催。テーマは、「人と自然の新たなコラボレーション」。地域から花みどり活動を通して取り組む新たな地球環境の創造、人と自然との協働(コラボレーション)により、新たな自然と人との共生空間を形成し、継承・発展させる。淡路島を「公園島」として花みどり文化の発信と地域振興につなぐことを目的としました。



▶2021年3月20日
花みどりフェア開会式
テーブルカットの様子

◇創造的復興の証

淡路花博2015「花みどりフェア」のテーマは、「人と自然の共生のステージ」。環境の世紀にふさわしい持続可能な社会の実現を、自然再生の取り組みの場として淡路夢舞台などを通じて発信し、淡路島の「エネルギー」「農と食」「暮らし」の持続を主張すること。阪神・淡路大震災から20年の節目にあたり、人と自然の共生の心をまさに創造的復興として取り組んできた証とすること。淡路島を人と自然が共生した持続可能な社会とする環境島として発信しました。



▲村雨辰剛氏作 庭園

◇淡路花博20周年記念

20周年となる今回、淡路花博が目指した「人と自然との共生」の理念を継承発展させるため、みなとつながる「花緑食の島」淡路をテーマに、春と秋の2回に分けて祭典を開催。淡路島を舞台に、コロナ禍の中、「新しい生活様式」を踏まえながら、自然・歴史・文化・食など多彩な地域資源に恵まれた淡路の魅力を全国に発信します。



▲2021年3月20日 花みどりフェア開会式 知事挨拶

知事の活動記録

2月28日には一旦、2回目の「緊急事態宣言」が解除されたものの、再び新型コロナウイルス感染者の増加を受け、4月5日からは「まん延防止等重点措置」を、さらに4月25日からは3回目の「緊急事態措置」を開始。2年続けてコロナ下での年度初めとなりました。

コシノヒロコ展内覧会

県立美術館で、デザイナーのコシノヒロコさんのコレクション250点と、同氏が描いた絵画作品200点を紹介する展覧会の公開前日。内覧会に、コシノさん、建築家の安藤忠雄さん、井戸知事らが出席。知事は「多彩な才能が随所に現れており、皆さんに来場をお勧めしたい」とあいさつした。会期は8日から6月20日まで。



(4月7日、神戸市)

辞令交付式



新規採用職員辞令交付式を行い、276人が公務員としての決意を新たにした。訓示で、井戸知事は「県民福祉の向上がわれわれの使命。県民により添って課題解決に導く姿勢と、時代の流れに柔軟に対応する姿勢を養って」とあり方を説き、「これからの兵庫を創るのは皆さん。夢と希望を託す」と激励した。

(4月1日、県公館)

県・市町懇話会

知事と県内の市町長が、連携して対応すべき喫緊の課題などを意見交換。井戸知事は、新型コロナウイルス感染症が急拡大している現状に警鐘を鳴らしつつ、「ワクチン接種のスケジュールが明確に示されれば一定の目処が立ち、県民の不安も減らせる」と説明。ワクチンの配分見通しを伝え、円滑な接種体制の構築を市町長らに呼びかけた。

(4月13日、県公館)



DC決定通知書伝達式

JRグループ6社と自治体が協働して実施する観光事業「デスティネーションキャンペーン(DC)」2023年夏の開催地が兵庫県に決まり、多田真規子・JR西日本神戸支社長から決定通知書が伝達された。井戸知事は「多様性に満ちた兵庫だからこそその魅力ある企画を形にできる機会。交通網などハード面も整備し、将来にわたり人々が訪れる兵庫づくりにつなげる」と意欲を語った。

(4月8日、県庁)



【東京2020オリンピック聖火リレー】

5月23日・姫路市、24日・丹波篠山市において聖火リレーが実施されました。緊急事態宣言発令中でもあり、当初の14市を巡る計画からは大幅に変更されましたが、1964年の前回東京五輪の際に台風の影響で走ることが叶わなかった「幻のランナー」10名を含む195名によるリレーが実現。23日の姫路会場での開会にあたり、井戸知事は「聖火はオリンピックの象徴。多くの人々とともに一歩ずつつなぐことで、開催に心からのエールを送ろう」と呼びかけました。

区分	姫路会場(5月23日(日)) (姫路城三の丸広場)	丹波篠山会場(5月24日(月)) (篠山城跡三の丸広場)
実施方法	壇上で聖火を受け渡す トーチキス方式	ランナー走行方式
	三の丸広場内でのトーチキス (ステージ上で全ランナーが トーチキス)	ランナー1人あたり20m程度 の走行(広場約6周を全ラン ナーでリレー)
ランナー数	82人	113人
出席者	井戸 敏三 知事(開会挨拶) 清元 秀泰 市長(閉会挨拶)	荒木 一聡 副知事(開会挨拶) 酒井 隆明 市長(閉会挨拶)



尼崎市

尼崎市立歴史博物館企画展

「尼崎城を掘る」



▲尼崎城本丸御殿の発掘調査

2020年10月、尼崎城本丸跡に尼崎市立歴史博物館が開館しました。昭和13年竣工の歴史的建築物である旧尼崎高等女学校校舎をリニューアルした歴史博物館では、尼崎の原始・古代から近・現代までの歴史を

紹介する常設展示に加えて、年4回程度、特別展・企画展を開催しており、7月10日（土）から9月5日（日）まで企画展「尼崎城を掘る」を開催します。地上から完全に姿を消した尼崎城ですが、地下には尼崎城の遺跡が残っており、発掘調査によって石垣や本丸御殿跡などが見つかっています。本展では、尼崎城跡発掘調査の成果を、出土遺物などにより紹介します。なお、尼崎城は2019年3月に再建され、一般公開されています。



▲博物館正面外観

館 尼崎市立歴史博物館
TEL 06-6489-9801
FAX 06-6489-9800

伊丹市

伊丹シティホテルに

枅タワーが出現



▲枅タワーオブジェクト（伊丹シティホテル内に展示）

『伊丹諸白』と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷という伊丹と灘五郷の清酒造りをテーマとした歴史的ストーリーが文化庁「日本遺産」に令和2年度に認定されました。本市は、江戸時代初期より、それまでの濁り酒から清酒を大量に醸造する技術を確立したとして「清酒発祥の地」を標榜しています。伊丹の酒は上方から江戸へ送られる酒として「下り酒」と呼ばれ、江戸で人気を博しました。現存する日本最古の酒蔵である「旧岡田家住宅・酒蔵」（国指定重要文化財）を有し、小西酒造と伊丹老松酒造の2社が、現在も伊丹の酒を造り、歴史を受け継いでいます。

清酒の歴史を知り、伊丹と灘五郷の清酒を味わうイベントを開催することで、来訪者の更なる増加と、地域住民が「愛着」と「誇り」を持ち続けられる地域を目指します。



館 総合政策部 都市ブランド・観光戦略課
TEL 072-744-2088
FAX 072-780-4068

三田市

私の暮らしが

かなうまち・三田



美しい自然に囲まれ、ゆったりとした住宅が多い三田は在宅ワークに最適！都会へのアクセスもよく出勤やお出かけにも便利です。まちと自然の距離感がちょうどいい三田で、あなたに

ぴったりな暮らしや働き方を見つけてませんか。

『オンライン移住相談窓口、始めました』
家に居ながら、移住補助のことや三田で暮らす先輩移住者の話が聞けます。※さんだうえるかむサイトから要事前予約。

『在宅ワーク補助、始めます』
在宅ワークのための改修費やPC、机などの購入費を補助します！
オンライン移住ツアーも実施予定です。詳しくは問い合わせ先まで。



▲三田市移住・定住ポータルサイト
「さんだうえるかむサイト」
<https://sanda-portal.com/>

館 市長公室若者のまちづくり課
TEL 079-559-5041
FAX 079-563-1366



加古川市

加古川市版Decidim稼働中！

「DIY都市に向けて」

本市は、ICTを活用して市の課題解決を目指すとともに、市民生活の質の向上、ひいては市民満足度の向上を図るため「加古川市スマートシティ構想」を令和3年3月に策定し、市民のニーズを反映したスマートシティの実現を目指します。

皆様の意見を収集するためのツールとして、市民参加のためのデジタルプラットフォームである「Decidim」を全国で初めて導入し、多くの方々から様々なアイデアや意見に対し、フィードバックを行い、活発な意見交換ができています。

ぜひ、首都圏にお住まいの皆様ならはのご意見・アイデアをお待ちしています！



free open-source participatory democracy
for cities and organizations



▲加古川市版Decidim

図 企画部 政策企画課
TEL 079-427-9373
FAX 079-424-1370

加東市

参加型美術館

「加東アート館」がオープン！



見て、撮って、学べる参加型の美術館「加東アート館」が、令和3年3月、加東市にオープンしました。トリック☆3Dアートや、AR技術を組み合わせたトリックARアートなど25作品を展示しています。

トリック☆3Dアートは、平面に描かれているのに、カメラを通してみると立体に見える作品です。トリックARアートは、専用アプリで作品を撮影すると、現実にはない絵が画面上に現れる作品です。

恐竜や動物などバラエティ豊かな作品に加え、「未知なる深海の世界」をテーマにした日本最大級の深海魚のトリックARアートをお楽しみいただけます。



▲加東アート館ホームページ

図 加東アート館
TEL 0795-48-4915
FAX 0795-43-0552
Eメール artless.k@gmail.com

多可町

コロナ禍で疲れた心と体に

ラベンダーの香りを♪

西日本最大規模のラベンダー園「ラベンダーパーク多可」。園内には3種類、約2万株のラベンダーを植栽しています。

5月中旬から順次咲き始め、7月中旬までが最盛期です。さわやかな風が吹き抜ける丘に広がる紫の絨毯。青空と自然に囲まれたラベンダーパーク多可へぜひお越しください。

また、新商品の「ピロミスト」も好評発売中です。園内で抽出したラベンダー精油・フロールウォーターに銀イオンを配合したスプレーで、枕カバーやタオル、ハンカチなどに噴霧して香りをお楽しみいただけます。コロナ禍で疲れた心と体をラベンダーの香りで癒やしませんか？



▲ラベンダーパーク多可オリジナル商品



▲ラベンダーパーク多可ホームページ

図 ラベンダーパーク多可
TEL 0795-36-1616
FAX 0795-36-1617



▲ラベンダー園内の様子

たつの市

超小型モビリティの
レンタルを行っています！



令和3年
4月1日から令和4年
1月31日まで、JR本
竜野駅前において、次
世代の交通機関として
期待される超小型モビ
リティ（2人乗りの超
小型電気自

動車）のレンタルサービスを実施しています。（詳細はQRコードからご覧ください）

普通自動車の運転免許があればどなたでも運転することができまので、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された龍野地区をはじめ「たつの」の魅力的な観光地を、3密を避け、地球にやさしく旅する新しい体験をお楽しみください。（観光以外にもご利用いただけます）



▲たつの市超小型モビリティ
レンタルサービス紹介ホームページ

図 都市政策部まちづくり推進課
TEL 0791-64-3121
FAX 0791-63-2594

神河町

神河町産の特産品を使用した
アイデア商品で地域を活性化!!

神河の魅力を広めるために始まったかみかわブランド開発支援事業。昨年度にも神河町の魅力が詰まった商品が開発されました。無農薬で自家栽培した神河町産のゆずを使った「神河柚子ドレッシング」は、ゆずの果皮、果汁を余すところなく使用しており、酸味を抑えた柔らかな口当たりが特徴のドレッシングです。町内産コシヒカリの米粉を100%使用した焼き菓子と町内に自生しているウリハダカエデの樹液をじっくりと煮詰めて作る「神河菓子 春を待つ森のしずく」は米粉の甘みにバターのコクを合わせ、しっとり焼き上げたお菓子セットです。神河の魅力が詰まったかみかわブランドの新商品をぜひご賞味ください。



◆神河ゆずドレッシング
販売場所：神河観光交流センター、
産直ECサイト「食ベチョコ」他
TEL 0790-34-1001（神河町観光交流センター）

◆神河菓子 春を待つ森のしずく
販売場所：道の駅神河（アンテナショップかまど）
TEL 0790-32-2837

◆かみかわブランド開発支援事業
図 ひと・まち・みらい課
TEL 0790-34-0002
FAX 0790-34-0691



太子町

太子町は今年、町制施行
70周年を迎えました！



昭和26年4月に、斑鳩町・石海村・太田村が合併し、聖徳太子より町名をいただき誕生した「太子町」は、令和3年4月で町制施行70周年を迎えました。この記念すべき年をまち全体でお祝いするため、町制70周年記念事業として、「太子町と近代産業」企画展や太子あすかふるさとまつり、未来に残すべき太子町の風景をインスタグラムや写真、ポスターで募集する企画などを住民の皆様との協働で展開し、未来を担う子どもたちにまちづくりをつなげていきます。インスタグラムの企画展示では、「#100年後に残したい太子町の風景」と検索することで、皆様からいただいた思いの風景をご覧ください。

70周年を迎えた太子町の「良いところ」を是非皆さんも探してみてください。



▲町公式Instagram
QRコード

図 総務部企画政策課
TEL 079-277-5998
FAX 079-276-3892



豊岡市

豊岡市に芸術文化観光

専門職大学が開学

4月1日、但馬初

の4年制大学となる、県立の芸術文化観光専門職大学が豊岡市に開学しました。芸術文化と観光の2つの分野を学び、地域の活性化を担う人材を育成します。国公立では初めて演劇の実技を本格的に学べる大学であり、実社会で必要なコミュニケーション能力を修得することができず。4月5日には入学式が行われ、第一期生として84人が入学し、地域の新たな活力を創出するプロの育成を目指していきます。



▲芸術文化観光専門職大学の外観

豊岡のまちにとっても、若者が集い更なる活力

が生まれるとともに、観光資源の磨き上げなどまちづくりにも大きなインパクトを与えてくれることを期待しています。



▲城崎温泉のまちなみ

図 環境経済部大交流課観光文化戦略室
TEL 0796-21-9081
FAX 0796-22-3872

香美町

利用者数50万人を突破！

余部クリスタルタワー



平成29年11月にオープンし、余部クリスタルタワーの愛称で親しまれている余部鉄橋「空の駅」エレベーターの利用者数が、

本年2月で50万人を突破しました。

このエレベーターは全面ガラス張りとなり、外の風景を楽しみながらゆっくりと上昇すると、地上41mの展望施設「空の駅」へ到着します。展望施設では旧余部鉄橋のレールや枕木の上を歩くことができ、遮るものがない広い空と町を包み込む山陰の山々、その先に広がる美しい日本の絶景を満喫できます。

また、季節ごとに色を変える夜間（日没〜午後

9時30分）のライトアップも見ものです。

昼夜の異なる魅力を堪能しに、ぜひともお越しください。



◆利用時間 午前6時～午後11時（無休）
◆利用料金 無料

図 観光商工課
TEL 0796-36-3355
FAX 0796-36-3809

丹波篠山市

千葉ロッテマリーンズと

スポンサーシップ契約を締結



高校1年生の夏から3季連続で甲子園出場を果たし、ドラフト2位で千葉ロッテマリーンズに入団した明石商業高等学校の中森俊介さん（丹波篠山市出身）。中森選手のプロ野球での活躍を願って、

本市と千葉ロッテマリーンズとの間でスポンサーシップ契約を締結しました。今後は、千葉ロッテファンや関東圏の皆さんに丹波篠山市の魅力発信する連携事業に取り組みます。

その取り組みの一つとして、7月6日（火）にZOZOマリンスタジアムで開催される福岡ソフトバンクホークス戦を「日本農業遺産認定記念 丹波篠山市 黒豆ナイター」として開催します。さらに、丹波篠山市のPRとしてデカンショ節の披露や黒豆・米などの特産品の販売なども実施します。

なお、当日の観戦チケットと特産品をセットにしたふるさと納税（ガバメントクラウドファンディング）の募集を5月上旬から開始します。

この日は、ぜひ球場までお越しいただき、丹波篠山市の魅力を感じてください。



▲スポンサーシップ協定調印式の様子
（写真右から）株式会社千葉ロッテマリーンズ 河合克美代表取締役社長、丹波篠山市 酒井隆明市長
図 社会教育課 観光交流課
TEL 079-552-5769 TEL 079-552-6907
FAX 079-552-8015 FAX 079-552-2090

丹波市

丹波市とつながるポータル
サイト「おかえり丹波」を
開設しました

平成30年5月から始めた「ふるさと住民登録制度」では、丹波市と関わりを持ちたいと考える市外在住者（「ふるさと住民」）を対象に、まちづくりへの参加の機会や特典・サービスなどを提供し、つながりを深めてきました。この度、これまで以上に丹波市を応援し、関わりを持っていただける「ふるさと住民」を増やすため、ふるさと住民目線で作った新しいサイト「おかえり丹波」を開設しました。メールマガジンなどのタイムリーな情報提供や、年代に応じた情報発信で、さらに市外在住者とのつながりを深めていきます。また、ふるさと寄附金の機能も備えていますので、ぜひ丹波市の魅力ある産品も探してみてください。



▲丹波市とつながるポータルサイト
「おかえり丹波」
<https://furusato-tamba.jp/>
園 ふるさと創造部 総合政策課
TEL 0795-82-0916
FAX 0795-82-5448



▲サイトトップページ

淡路市

淡路花博20周年記念
花みどりフェア（秋）開催！

が5月30日（日）まで実施され、秋は9月18日（土）～10月31日（日）までの予定です。
花や歴史・文化、食に関する多彩なイベントが島内各地で開催され、淡路島の魅力を満喫できる特別なイベントです。ぜひお越しください。
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によつては、開催を中止する場合があります。最新情報は、公式ホームページにてご確認ください。



2000年に開催された国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」（淡路花博）から20周年を記念して、「淡路花博20周年記念花みどりフェア」が3月20日（土祝）に開幕しました。フェアは春と秋の2回開催。春



▲花みどりフェアのホームページ
園 企画情報部まちづくり政策課
TEL 0799-64-2506
FAX 0799-64-2531

スポーツが、好きだ。スポーツが、したい。

WORLD MASTERS GAMES
2021 KANSAI JAPAN

エントリー再始動! 受付期間 2021.5.13(Thu)-2022.2.28(Mon)



モリシプラン・オフィス
MORISHIPLAN OFFICE

代表 森 島 英 一

〒272-0826

千葉県市川市真間 4-11-F301

☎ 047-371-7790

☎ 090-6506-1406

PC address : morishima@morishiplan.com

URL : <http://morishiplan.com>

★船舶関連業務：米国Mawetal社の特許案件（環境対応新燃料 - 超低硫黄分達成・CO₂排出削減）のライセンス契約代理業務を行っています。



東京兵庫県人会

会長 菅 谷 定 彦
(株)テレビ東京 特別顧問

水泳を楽しんだ浜甲子園の浜辺が
再び海水浴客でにぎわう日を
夢みております。(西宮市出身)

テクノロジーを「見て」「触れて」楽しく体験

FUN
on Land, Sea, and Air! ✕

TECHNOLOGY

Kawasaki
Powering your potential



カワサキワールド
Kawasaki GoodTimes World



開館時間

10:00 ~ 18:00
(入館は17:30まで)

休館日

毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌日に休館)
年末年始(12月29日~1月3日)

入館料

大人900円 / 小人(小・中・高校生)400円
※カワサキワールドの入館料は海洋博物館入館料に含まれています。

